



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月9日

上場会社名 株式会社プレナス

上場取引所

東

コード番号 9945

URL <http://www.plenus.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）塩井 辰男

問合せ先責任者（役職名）経営管理室長（氏名）廣藤 明

(TEL)092(452)3678

四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日 配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	114,625	1.1	4,663	△18.4	5,526	△13.0	3,039	△18.3
26年2月期第3四半期	113,347	7.9	5,716	28.9	6,353	34.4	3,721	110.4

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 3,034百万円 (△18.8%) 26年2月期第3四半期 3,738百万円 (112.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	79.54	79.29
26年2月期第3四半期	97.39	97.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	87,087	61,687	70.4
26年2月期	86,208	60,406	69.9

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 61,342百万円 26年2月期 60,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
27年2月期	—	25.00	—	—	—
27年2月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,400	2.9	8,000	0.7	8,400	△3.8	4,700	△6.4	122.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	44,392,680株	26年2月期	44,392,680株
27年2月期3Q	6,174,540株	26年2月期	6,174,490株
27年2月期3Q	38,218,164株	26年2月期3Q	38,215,483株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、平成27年1月9日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境等が改善したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあり生産が弱含む等、力強さを欠きました。

当外食産業におきましては、物価の上昇や天候不順等の影響もあり、個人消費は低調に推移し、加えて原材料価格の上昇や人手不足が大きな課題となる等、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を推進すると共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」においてフランチャイズ展開を推進すると共に、「やよい軒事業」においても加盟店の募集を行い、さらなる営業基盤の強化に向けて、活動いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,146億25百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は46億63百万円(前年同期比18.4%減)、経常利益は55億26百万円(前年同期比13.0%減)、四半期純利益は30億39百万円(前年同期比18.3%減)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、売上高の増加があったものの、店舗運営に係る人件費等の増加が要因で、前年同期実績を下回りました。

[国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第3四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,692店	94店	53店	2,733店	117店
やよい軒	247店	23店	2店	268店	12店
MKレストラン	32店	—	1店	31店	—
合計	2,971店	117店	56店	3,032店	129店

[海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第3四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	5店	—	—	5店
	韓国	4店	2店	2店	4店
やよい軒	タイ	115店	15店	1店	129店
	シンガポール	4店	1店	—	5店
	オーストラリア	—	1店	—	1店
	台湾	—	1店	—	1店
合計	—	128店	20店	3店	145店

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

定番商品である「幕の内弁当」等について、素材にこだわり品質を高めるリニューアルを実施する一方、初めて生のまぐろを使用した海鮮メニュー「ねぎまぐろ丼」や台湾料理の「ルーローハン」等の新商品も発売いたしました。また、おいしさだけでなく健康にもこだわった「金芽ごはん」を使用して、店内調理による手づくりの特長を活かした商品の提供に努め、競合店との差別化を図りました。

加えて、webを利用した宅配・受取予約・物販の新サービス「Netto Motto(ネットモット)」を全店で導入し、お客様に新たな「ほっともっと」の利用方法を提供することで、利便性の向上を図りました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組んだ結果、加盟店は順調に増加しております。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比100.0%となりました。

以上の結果、売上高は、916億26百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は33億79百万円(前年同期比28.1%減)となりました。売上高につきましては、店舗数は増加したものの、直営店の加盟店への移管が進んだことにより、前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、店舗運営に係る人件費等の増加が要因で、前年同期実績を下回りました。

【やよい軒事業】

素材や手作り感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「冷汁とり南蛮の定食」「すき焼き定食」等の郷土性や季節感を取り入れた商品を発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映やディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

また、本格的にフランチャイズ展開を推進するため、新規オーナーの募集を行いました。

店舗展開につきましては、初めて四国地方に出店する等、事業展開エリアを着実に広げております。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比104.6%と好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は205億83百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益は13億69百万円(前年同期比23.4%増)となりました。

【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べる「MK鍋」に、本格飲茶や一品料理も取り揃え、より多くのお客様にお楽しみいただけるメニューに一新いたしました。また、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映や携帯電話・スマートフォンを利用した「MKポイントサービス」会員の獲得にも注力する等、お客様の来店促進を図りましたが、既存店売上高は前年同期比96.2%にとどまりました。

以上の結果、売上高は24億15百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益は50百万円(前年同期比70.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億78百万円増加し、870億87百万円となりました。内訳は、流動資産が4億34百万円減少したこと、固定資産が13億13百万円増加したことでありま
す。流動資産の減少は、現金及び預金が24億68百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が2億17百万円増加した
こと、商品及び製品が17億63百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産が
22億52百万円増加したこと、投資その他の資産が9億90百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億1百万円減少し、253億99百万円となりました。内訳は、流動負債が6億
74百万円増加したこと、固定負債が10億76百万円減少したことでありま
す。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が10億17百万円増加したこと、未払費用が7億63百万円増加した
こと、未払法人税等が14億12百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債の減少は、訴訟損失引当金が13億39百万円減少したことなどによるもので
す。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億80百万円増加し、616億87百万円となりました。これは、利益剰余金が
四半期純利益により30億39百万円増加したこと、剰余金の配当により19億10百万円減少したことなどによるもので
す。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年10月9日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において主要な関係会社の異動はありません。なお、第1四半期連結会計期間において北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,138	21,670
受取手形及び売掛金	2,577	2,795
商品及び製品	4,959	6,723
原材料及び貯蔵品	38	55
その他	2,958	2,995
貸倒引当金	△212	△214
流動資産合計	34,460	34,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,320	26,091
その他(純額)	9,657	10,138
有形固定資産合計	33,978	36,230
無形固定資産		
	372	423
投資その他の資産		
その他	17,413	16,426
貸倒引当金	△15	△19
投資その他の資産合計	17,397	16,407
固定資産合計	51,747	53,061
資産合計	86,208	87,087
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,059	6,076
未払法人税等	1,898	486
賞与引当金	312	83
ポイント引当金	96	97
株主優待引当金	93	15
資産除去債務	12	59
その他	8,413	9,743
流動負債合計	15,886	16,560
固定負債		
訴訟損失引当金	1,339	-
資産除去債務	4,129	4,269
その他	4,445	4,569
固定負債合計	9,915	8,838
負債合計	25,801	25,399

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,916	4,916
利益剰余金	63,875	64,961
自己株式	△12,035	△12,035
株主資本合計	60,218	61,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	13
為替換算調整勘定	-	26
その他の包括利益累計額合計	△0	39
新株予約権	188	235
少数株主持分	-	109
純資産合計	60,406	61,687
負債純資産合計	86,208	87,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	113,347	114,625
売上原価	52,123	53,259
売上総利益	61,224	61,366
販売費及び一般管理費	55,507	56,702
営業利益	5,716	4,663
営業外収益		
受取利息	40	47
受取配当金	2	8
為替差益	366	558
固定資産賃貸料	110	117
持分法による投資利益	14	12
その他	139	165
営業外収益合計	674	909
営業外費用		
固定資産賃貸費用	22	24
その他	16	21
営業外費用合計	38	46
経常利益	6,353	5,526
特別利益		
固定資産売却益	1	9
特別利益合計	1	9
特別損失		
固定資産処分損	190	272
減損損失	76	297
その他	9	31
特別損失合計	276	601
税金等調整前四半期純利益	6,078	4,934
法人税等	2,357	1,914
少数株主損益調整前四半期純利益	3,721	3,020
少数株主損失(△)	-	△19
四半期純利益	3,721	3,039

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,721	3,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	13
為替換算調整勘定	-	0
その他の包括利益合計	16	13
四半期包括利益	3,738	3,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,738	3,053
少数株主に係る四半期包括利益	-	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつと 事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	92,737	17,971	2,638	113,347	—	113,347
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	92,737	17,971	2,638	113,347	—	113,347
セグメント利益	4,700	1,109	29	5,840	△123	5,716

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつと 事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	91,626	20,583	2,415	114,625	—	114,625
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	91,626	20,583	2,415	114,625	—	114,625
セグメント利益	3,379	1,369	50	4,799	△135	4,663

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」から「MKレストラン事業」に変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。